

大塚を歩こう ~大塚周遊コース~

○アストラムライン 大塚駅

約0.2km

①願行寺（がんぎょうじ）

江戸時代には檀家数が少ないとから、寺院としても、真宗道場としても認められていない隠し寺でした。かつては天台宗で伝弘寺と称していましたが、のちに真宗に改め、安永4年（1765年）に東岸山願行寺となりました。

経堂の軒下には「こて」で仕上げた、龍やコイ、水鳥のごと繪があります。

元は大塚分校跡地の少し上手にありましたが、明治38年（1905年）に現在地に移転しました。



②大歳神社（おおとしじんじゃ）

創立年代、由緒共に不詳ですが、この地に住む住民が山地より下り平地部に住むようになり開拓された頃から、耕作の神（稻作を中心）として産土神（うぶすながみ）が祭られています。

そのため、大塚では音崎神社と共に最も古い神社と考えられています。



③大塚観音堂（慈光寺）

ご本尊の木造十一面千手観音立像は昭和62年（1987年）に市の重要文化財に指定されています。弘法大師の作と伝えられ、可部福王寺、立木像の二番木をもって作ったものと言われています。

岸城城主「大塚氏」がこの像に感応し、建てたお堂が同寺であると伝えられており、武芸の祖神として信仰され、武士が奉納した額が残っています。

かつては大塚の中心的な存在で、境内に湧き出る清水は眼病に効くと言われ、遠くからみに来る方もおられました。また大塚村十二景の一つにもなっています。

ここから望む山の連なりは観音様が横にならねた「涅槃図」（ねはんず）とも言われます。



④出雲神社（いずもじんじゃ）

出雲の神、大国主命（大己貴神）が祭られ、この地の守護神であり、またお宮の額の中に出雲稻荷の文字も見えることから、この地の人たちの幸福と商売繁盛を祈っているとされています。

地元の方々は、親しみを込めて「ジョンシキサン」と呼んでいます。

●稻荷神社



⑤宮ヶ瀬神社（みやがせじんじゃ）

創立、勧請年代は不詳ですが旧大塚村の村社であったため、大塚村の守護神であり、家内安全、五穀豊穣の神とされています。

元は大塚の城主、大塚四郎兵衛義清が山の中へ社殿を建立し、八幡神と嚴島神を勧請し数百年来祭っていましたが、「三本の川の交わる所へ移転せよ。そうすれば地の幸福を守る。」との神勅があったので、宮ヶ瀬の地に奉遷したと伝えられています。

現在はアストラムラインの建設に伴い、元宮のすぐ上の丘に移転しています。

●八面神社



⑥横田観音堂へ

主な参考文献

- 沼田町史
- 広島市の文化財
- 沼田の歴史散歩（沼田歴史散歩の会）
- そのほか、社寺の現地解説文など



まちめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、「まちめぐり憩いの空間づくり事業」（平成13年度～平成20年度）を実施し、区民の皆さんと一緒に自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント（空間）や、これらを結ぶルートづくりを行い、平成20年度までに全18ルートが完成しました。

このマップは、平成18年度に開催された「まちめぐり憩いの空間ルート研究会」において、大塚地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。



アストラムライン、広電バス「五月が丘団地・免許センター線」「花の季台・こころ団地線」が便利です。
※運行時刻、所要時間、経由地などは、運行会社にご確認ください。

あさみなみ散策マップ ~大塚ルート~

発 行：広島市安佐南区役所 地域起し推進課 TEL:082-831-4926
制作協力：まちめぐり憩いの空間ルート研究会
発行年月：平成19年（2007年）3月
平成23年（2011年）2月 改訂
平成26年（2014年）3月 改訂

大塚ルートとその周辺について

● 緑と都市空間の中の歴史文化 ●

大塚はアジア競技大会を機に、この十年余りの間に急速に発展しました。広島広域公園、ツインタワーに象徴される都市空間と、農地や山々が不思議なコントラストをなしています。

『西風新都』とも呼ばれるこの地域は新しい街の印象がありますが、奈良時代には七官道の一つである古代山陽道が通り、鎌倉時代には厳島神社ゆかりの佐伯氏、室町時代には武田氏の所領であった、歴史ある地です。そこには昔から人々が大切に育んできた史跡があり、今も変わらず愛され守られています。たくさんの神社があり、この地域の人々の篤い信仰心を感じさせます。また、古いものを大切にしながらも新しいものを受け入れていく姿勢を、そこに住む人々の温かい視線から感じることができます。



ツインタワーと岸城跡(手前の小山)

● 大塚村十二景 ●

起伏に富みながら広がる平地部や丘陵地、周囲の山々、その中に培われた集落や農地、生活文化は、大塚の美しい風景です。

江戸末期の俳人・白池菴木居（はくちあんもっきょ、本名:小谷雄右衛門為善）は、名所や風景を大塚村十二景として俳句とともに記しています。第一の句を紹介すると、「遠里は眼鏡によせる花もかな」。美しく華やかだ淨山の桜が、よみがえってくるようです。

第十一・幸神社
第十二・天狗岩
第十三・横田観音堂
第十四・大塚城跡
第十五・大塚城跡
第十六・大塚城跡
第十七・大塚城跡
第十八・大塚城跡
第十九・大塚城跡
第二十・大塚城跡

八八観音大古田荒伝園圓雌の淨
幡ツ音利城中神仏崎雄わ山の
社面の社跡の社池社岩屋の
の清の芝のの雄の隱花
水蕉水藤名塚紅水子春の見
蜜花 花月 葉鳥 色風



正しい歩き方

せっかく歩くなら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか？

胸を張り背筋を伸ばし肩の力を抜いてリラックス

腕(ひじ)をやや曲げ腕を大きく振る

おなかを引き締める

膝(ひざ)を伸ばして大きく前へ

かかとから着地

元気じやけんひろしま21

～安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています！～

この印刷物は再生紙を使用しています

大塚を歩こう ~大塚周遊コース~

⑥横田観音堂

本尊は大塚観音堂の隆盛時代に分祠（ぶんし）されたと言われています。

寺と言うほどのものでなく、仏像を入れるだけの小さな堂が地区に建てられて、そこに観音様が安置されました。これを観音堂と言い、その仏像を信仰する人々が堂を中心に集まり観音講をつくりました。



●功労碑

⑦広島市立大学周辺の田園風景など

田園越しに見る広島市立大学の校舎は壯觀です。近代的な建築物と田園風景とが見事なコントラストをなしています。



●石灯ろう

⑧音崎神社（おんざきじんじゃ）

大山津見神が祭られています。昔は別の場所に建立されていましたが、洪水で神社が沈んだ時、大山津見神が現れ「大きな梅(つか)」の木の所に神社を移転して祭れば、この土地を守ろう」と言われ、村人たちが相談し、大きな梅(つか)のあった現在の場所に移し祭つたとされています。



- 大塚分校跡地
- 若宮神社
- 伝仮跡
- かんじが峠

昔、「かんじゅうろう」という親孝行な人がいました。そのかんじゅうろうが自分の親を背負い、願行寺までお寺参りにこの道を通り行っていたことが由来とされています。

⑨幸神社（さいのかみしゃ）

祭神は幸神（かみどりの神）とされています。現在は幸神社となっていますが、旧社名荒神社と言われ、「荒神」は荒ぶる神、強剛な神を祭っていたとも言われます。

また「土地の老人」や「常久」を祭るとの言い伝えもあります。



⑩權之神社（ごんのかみしゃ）

祭神は權之神（武人）と言われており、中講地区的氏神となっています。

また、鎌倉時代にこの地に住んでいた「權守入道」の名が、地名ともなっています。



⑪天狗岩（てんぐいわ）

かつては三叉山系の峰の一角に位置しており、その昔、岩の傍らにあった傘の形をした大きな松を目印に天狗がこの岩の上に舞い降りたとの言い伝えからこの名がつきました。今でもその時の天狗の三本の爪跡が岩に残っています。



○アストラムライン 広域公園前駅

<寄り道コース>

- 岸城跡
- 見晴らしポイント（広島市立大学付近）
- 広域公園・タイワンフーの並木
- 広島修道大学・ハーモニーロード（イチョウ並木）

など

